

タカミヤ アグリ事業部、AGRISTと共同試験を開始 きゅうり自動収穫ロボットを自社農場へ導入

足場をはじめとする仮設機材の総合プラットフォームとして、建設業界を支えるソリューションを提供する株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、AGRIST株式会社（以下AGRIST）が開発したきゅうり自動収穫ロボットの試験導入を開始いたします。



■きゅうり自動収穫ロボット導入の背景

当社は「G-Castle Neo48」と「G-Castle Pro I」という高機能農業用ハウスを製造・販売する一方で、埼玉県羽生市に自社農場での実証栽培として、きゅうり、ミニトマト、いちごを栽培しています。今回、きゅうり自動収穫ロボットの実現可能性を高めるために、2023年～2024年の収穫に合わせて実際の現場にロボットを導入することとなりました。現場の声、視点を直接取り入れながらロボットを開発することで、ロボットを活用した最新の農業へ前進します。

■今後の展望

きゅうりは作物の成長が早く、収穫作業にあてる時間比率が大きいため人手不足の解消が急務となっています。そのため、きゅうり自動収穫ロボットの導入で作業者の負担を減らし、より効率的な農業の実現に貢献できることが期待されます。

今後、きゅうり自動収穫ロボットは羽生農場を拠点として、ロボットとAIを活用した自動化農業システムパッケージを確立していきます。100年先も続く持続可能な農業の実現に向けて、農業課題を解決しながら日本の農業を盛り上げていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

タカミヤPR 事務局(株)アンティル内) 担当：阿部・木村・水原・藤井
T 06.6225.7781 F 06.6225.7782 takamiya_pr@vectorinc.co.jp

■ AGRIST製きゅうり自動収穫ロボットについて

AGRISTが開発するきゅうり自動収穫ロボットは、ピーマンの収穫ロボット開発で培った技術を活用し開発しています。きゅうり自動収穫ロボットは1本100グラム以上のきゅうりをより多く収穫するために、安定性の高い自走式モデルで移動します。また、ロボットに搭載されたカメラから得られた画像をAIが認識・判断し収穫動作を行います。

収穫ハンドには吸引タイプの収穫ハンドを採用し、栽培環境や作物を傷つけずに収穫する機能を搭載しています。



■ AGRIST 概要

社名：AGRIST株式会社

代表：代表取締役 齋藤 潤一、秦 裕貴

本社所在地：宮崎県児湯郡新富町富田東1丁目47番地1

URL：<https://agrist.com>

ロボット詳細：<https://agrist.com/archives/6662>

事業内容：農業ロボット開発事業・AI開発事業・ソフトウェア開発事業

ロゴやアグリストの写真はこちらからご自由にご使用ください：<https://agrist.com/media>

■ 会社情報

社名：株式会社タカミヤ

代表：高宮 一雅

本社所在地：大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

URL：www.takamiya.co

設立 1969年6月21日 / 資本金10億 5,214万円 / 従業員数 736名 (連結従業員数 1,266 名)

事業内容 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

社名：株式会社タカミヤの愛菜

代表：岡本 裕之

本社所在地：東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階

ファーム所在地：埼玉県羽生市大字日野手新田字清右工門130-1

URL：<https://www.takamiya-aisai.jp/>

Instagram：https://www.instagram.com/takamiya_aisai/

【本件に関するお問い合わせ先】

タカミヤPR 事務局(株)アンティル内) 担当：阿部・木村・水原・藤井

T 06.6225.7781 F 06.6225.7782 takamiya_pr@vectorinc.co.jp